

## 事例 4 被災した民有林林道の早期復旧に向けた技術支援

(東北森林管理局)



- 大崎(おおさき)市役所
- 大崎市長を交えて調査前の打合せ

- 宮城県大崎市  
岩出山(いわでやま)地域
- 現地調査の様子(令和4年7月)

令和4年7月15日から降り続いた記録的な大雨により、宮城県大崎市では、名蓋川なぶたかわの決壊をはじめ、市街地や田畑の冠水及び土砂崩れが多数発生しました。

同市内の民有林林道においては、多数の被害が確認されたことから、東北森林管理局は、同市からの要請を受け、被災した林道の早期復旧に向けて、職員3名を派遣しました。

派遣された職員は、特に被害の大きかった岩出山地域、松山地域及び鳴子温泉地域の林道(計11路線、14箇所)の被害状況調査を行い、被害額の算定、災害申請の可否の検討、復旧方針の策定等の技術支援を行いました。

調査結果については、早期の災害申請に向けて市担当職員に説明し、市長からは、「地域住民の安心・安全のため、早期復旧にご協力いただき感謝する」と謝意が示されました。

今後も、専門技術を有する職員の育成を図りつつ、民有林支援も含めた迅速な災害対応を図っていきます。